

報道発表資料の配付日時 10月25日(木) 10時00分

発表項目 (行事名)	札幌医科大学附属病院の患者情報が入ったパソコンの盗難について
概要	<p>このことにつきまして、次のとおり発表いたします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 札幌医科大学大学院医学研究科に在籍する大学院生(30代、男性医師)が、本学附属病院における患者約60人分の個人情報が入った私用ノート型パソコンを学外に持ち出し、車上荒らし・盗難の被害にあった。 <p>2 経緯</p> <ul style="list-style-type: none"> 10月14日(日)23時10分頃、札幌市内の飲食店で食事中、駐車場に停めてあった車の窓ガラスが割られ、車内からスポーツバッグが盗まれた。 バッグの中には衣類のほか、本学附属病院の患者情報を含む資料が入力されたノート型パソコンが入っていた。 ※札幌方面南警察署に被害届を提出 <p>3 患者に関する情報</p> <ul style="list-style-type: none"> 盗まれたパソコンには、学位論文のために作成した臨床資料が入っており、そこには本学附属病院にて診療した患者の氏名、年齢、性別、病名等の個人情報(平成23年4月以降のもの)も含まれている。 なお、当該パソコンには、盗難・紛失時の情報漏えい対策として、パスワードによる二重のロック(①パソコン起動時②データファイルを開く時)が設定されており、本学のセキュリティポリシーにそって調査等を行い本日の発表に至ったところ。 ※本学におけるセキュリティポリシー等では、診療情報の院外の持ち出しは原則行わないこと、レポートの作成など自宅での学習のために、やむを得ず院外に持ち出す場合は個人が特定されないよう匿名化等の作業を行うこととしているが、当該大学院生は匿名化等の措置を行っていなかった。 <p>4 今後の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者様の個人情報の取扱いについては、機会あるごとに教職員及び学生へ注意喚起を行ってきたところであり、今回、個人情報の適切な取扱いが徹底されていなかったことが明らかになったことから、深く反省するとともに、改めて教職員及び学生に対する個人情報保護の徹底並びに法令等を遵守した個人情報等の取扱いに万全を期して参ります。 当該大学院生に対しては厳正な処分について検討しております。
参考	<ul style="list-style-type: none"> 現在のところ情報の漏えいに関する確認はされていません。

報道(取材)に当たってのお願い	
他のクラブとの関係	同時配付 (場所) 同時レク

担当	札幌医科大学事務局学務事務部学務課 課長 安原達也
(連絡先)	TEL代表: 011-611-2111 (内線2180) 直通 011-688-9460